

これまで全国の医療機関で冠動脈疾患・不整脈疾患・心臓弁膜症に対して

カテーテル治療を行われたことのある患者さんへ

以下の機関では、厚生労働省から診療報酬情報の提供を受け、「心臓カテーテル治療における実態調査と医療の質評価に関する研究」を行っています。

**【対象となる方】** 2013 年 4 月～2022 年 3 月の間に、冠動脈疾患(狭心症や心筋梗塞など)・不整脈に対するカテーテル治療を受けた方

**【研究課題名】** 心臓カテーテル治療における実態調査と医療の質評価に関する研究

**【研究責任者】**

国立循環器病研究センター 情報利用促進部 室長 金岡 幸嗣朗

**【研究の目的】**

本研究は、患者さんがこれまで受けられた治療等の情報を全国的に集計し、医療の質に関する項目や治療の実態を明らかにすることです。本研究結果の成果は、将来同じような治療を受けられる患者さんにとって、より安全で、質の保たれた医療を全国的に提供することに繋がることが期待されます。

**【利用する診療情報】**

年齢、性別、入退院年月日、手術施行日、手術名（経皮的冠動脈形成術・経皮的カテーテル心筋焼灼術・経カテーテル的大動脈弁置換術・経皮的僧帽弁クリップ術・経カテーテル的左心耳閉鎖術・リードレスペースメーカー移植術）、病名（狭心症・心筋梗塞・不整脈・心臓弁膜症・高血圧・脂質異常症・糖尿病・腎不全・認知症・慢性閉塞性肺疾患・心房細動・心房粗動・悪性腫瘍・褥瘡）、入院中・退院後の処方（抗血小板薬・抗凝固薬・β遮断薬・ACE 阻害薬・ARB・ミネラルコルチコイド拮抗薬・Ca 拮抗薬・糖尿病薬・脂質異常症薬・利尿薬・気管支拡張薬・抗不整脈薬・昇圧剤・血栓溶解薬）・処置（輸血・ドレナージ術・止血術機械的補助循環・人工呼吸・開胸手術・心肺蘇生・心臓リハビリ・透析）・特定機材（ステント・バルーン・冠動脈イメージング・アブレーションカテーテル・心腔内超音波・心房中隔穿刺針・止血デバイス）・加算（臨床研修病院加算、緊急入院加算、時間外加算）、その他疾患ごとに該当する医療行為・薬剤・機器情報、施設ごとの処置・入院件数、死亡、退院後の再手術・再入院、入院外来医療費、その他レセプトに含まれる匿名化情報

**【情報の管理責任者】**

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也  
京都府立医科大学 理事長 金田 章裕

【研究の実施体制】

研究代表者

国立循環器病研究センター 情報利用促進部 室長 金岡 幸嗣朗

共同研究機関・研究責任者

京都府立医科大学 不整脈先進医療学講座 准教授 妹尾 恵太郎

【研究期間】研究許可日より 2029 年 3 月 31 日まで（予定）

【外部機関への情報等の提供】

この研究で収集した情報を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する情報は匿名化されているため、個人を直接特定することはできません。

データベースの加工のため、以下の業務委託機関にレセプト情報を提供します。提供データも匿名化されているため、個人を直接特定することはできません。

業務委託機関：ゼッタテクノロジー株式会社

提供方法：郵送・宅配（セキュリティ便等の送付履歴が残る方法を使用）、電子的配信（パスワード等を別メール等で通知）

【個人情報の取り扱い】

本研究では厚生労働省において匿名化されたデータベースを用います。このデータベースにはお名前や住所など個人を特定できる情報は含まれていないため、本研究において個人の特定は困難です。提供されたデータは決められたガイドラインに従い、厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で使用いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはできません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 情報利用促進部 室長 金岡 幸嗣朗  
電話 06-6170-1070